

いるといわれています(LSEの報告書、1995年)。

また、協同による仕事おこしを通じて働く場を確保しようとする動きも数多くあります。シェフィールド市役所に勤める隣人の話のなかにもいくつかの例ができてきます。娘の友達の父兄との話のなかにもいくつかこうした例が出てきます。街を歩いていても、労働者協同組合のマークをつけた車と出会うことすらあります。つまり、これら

の経験は協同による仕事おこしがけっして稀な例ではないということを教えてくれています。

こうした事例を発見し調査研究するのが今回の在外研究の主な目的です。これまでの経験でも、実に多様な「協」の世界がイギリス社会の奥底に根付いていることが分かります。こうした世界についての「イギリス通信」を送れるようになりたい、それがひとつの抱負です。

---

## 海外から——新年のメッセージ



アメリカ R.Mashall

---

新年あけましておめでとうございます

### ワトコム郡ベリンガム市における協同

ワトコム郡は、小さな地域にしては、あらゆる種類の協同組合に対して、きわめて強く大きな関心が寄せられている地域です。郡の最大の都市であるベリンガムには、郡の人口12,000人の半数が住んでいます。郡内の多数の人々は、いまだに農業や漁業、林業を営んでいます。ベリンガムは、シアトルの北、約90マイルのところにあります。労働者協同組合の研究者ならベリンガムを知っていることでしょう。そこには、1930年代に始まった北西部合板協同組合の一つである、ベリンガム合板があるからです。ここにはさらに、巨大な農民協同組合や、医療協同組合、二つの協同組合学校、地域食料協同組合、協同組合製粉所、住宅協同組合、いくつかの信用組合、および労働者所有

の食料品店があります。会計協同組合は最近閉鎖しました。そして今、この文章の主題となる、新しい種類の協同組合がスタートしつつあります。

一般(あるいは統括)協同組合が、協同組合、とりわけ労働者協同組合の発足を援助する協同組合として、計画されているのです。こうした協同組合についてのアイデアを思い付いたのは、家のないティーンエイジャーのために活動してきた人でした。彼は、子供たちに仕事と住む場所を見つけ出し、麻薬やアルコールの問題から彼らを助けようとしてきました。彼はこれらの子供たちのために、また彼らとともに、劇を書きました。劇の中に子供たちの人生経験が用いられていて、観客は子供たちのそれまでの人生を知ることができるような劇でした。子供たちも役者にして、彼はこれらの劇を上演し、子供たちのためにお金を集め、また彼らの治療の場にもしました。彼はまた、リサイクルされたポリボトルでおもちゃや枕を作

る事業をおこして、子供たちがそこで働き、また運営できないかというアイデアも持っていました。これらの子供たちは多くの深刻な問題を抱えています、何かできることがあり、任されれば、良くなることができると彼は考えたのでした。

1年前から、彼は、協同組合に関心と理解を持つ、郡内の人々からの相談活動を始めました。私は、1994年12月に、事務局兼会計係として、理事会に加わりました。そして私たちは、参加しうる人々を集めて、一連の朝食会を開いて、協同組合や、この新しい協同組合の組織方法を討議し始めました。最初に出席した人々のうちの何人かは、地域食料協同組合（生協）の従業員でした。彼らは、従業員としてはできなかった、いくつかのことをやってみたかったのです。彼らは、味噌工場を始めるとともに、毎週の低価格の食事と公共的なイベントでの討議を結び付けたコミュニティ・ディナーを開始しました。また、田舎の農民から都市の顧客への産直ルートを開きました。郡には多くの農民がいますが、伝統的なやり方で生活していくことは、ますます難しくなっています。別のグループは、自然の経験をしたことがない大都市の子供たちのために、野外キャンプとガイド事業を始めようとしています。

これらすべての事業と活動は、労働者協同組合として組織することができます。ワシントン州には協同組合の組織に適した法律がありますので、この点は問題ありません。けれども、一つ問題となるのは、一般協同組合が成功し、成長し始めた場合、これを実際にどう組織し運営するかです。一般協同組合は、非課税の寄付を受けるために非営利教育機関として組織されているので、公式には協同組合ではないのです！しかも構成員は、集団と個人の混合です。各事業体の代表者が理事会に入っていますが、大学教授の私のように、何人かの地域コミュニティのメンバーも加わっています。私たちの理事長は、ワシントン州農業労働者組合連合とともに活動している弁護士です。

また、劇場で活動している子供たちを事業に結び付ける方法を考え出すことも、問題です。劇場——脚本や上演は、彼らの治療の一部ですが、同時に彼らは報酬も得ています。この面では、彼らは長く留まってはられません。年数回上演すると、彼らは学校や通常の仕事に戻っていくからです。しかし、もし一般協同組合が、通常の協同組合になっていたなら、非課税の劇場を運営することはできなかったし、困難なティーンエイジャーを助けるための助成金を受け取ることもできなかったでしょう。これらは、私たちが抱えている多くの問題のほんの一部です。しかし、私たちは、良いスタートを切りつつあると思っています。もしこれらの協同組合が成功すれば、もっとはるかに多くの協同組合を発足させることができるでしょう。一般協同組合が目指しているのは、小さな協同組合がより大きく成長していけるような、大きな傘になることです。これは、しょっちゅう雨が降る、合衆国北西部には、ぴったりのイメージなのです。

(R. マーシャルさんから、新年のあいさつと共に英文で送られてきた原稿を協同総研・菅野が訳しました。)